

東日本大震災被災者支援ネットワーク松戸

(略称：支援ネット松戸)

設立趣旨書

1. 設立趣旨

本組織は、3月11日に東北地方太平洋沖にて発生した大地震に伴う、東日本大震災に対する支援のために結成された、松戸市内の民間の市民活動団体やNPOによるネットワークです。

今回の震災は、その規模があまりに大きく、現在もなお避難されている方が多くいます。この状況の中で、個々の民間団体がそれぞれに行う支援活動を、より適切に、効率的なものとするため、お互いの情報交換をしやすい環境を作り、支援を求めている人に届けることを本組織の趣旨とします。

2. 設立までの経緯

3月23日に開催した、「東日本大震災 支援のための緊急集会」において話し合われた中で、お互いの情報交換を行うネットワーク組織が必要だとの声が多数挙げられた。また、参加者の中から今後の方針を決めるための運営委員を募り、本組織を立ち上げることが決定した。

3月30日に行われた、第一回運営委員会において、本組織の正式名称を「東日本大震災被災者支援ネットワーク松戸」とすることが決定した。

3. 運営委員及び賛同者

■運営委員

- ・岩橋秀高 (NPO 法人人材パワーアップセンター代表理事)
- ・奥田義人 (NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど副代表理事)
- ・木村久仁江 (NPO 法人装爽ネットワーク代表理事)
- ・古宮保子 (ファミリーサポート・勇気づけ、食の安全安心を考える市民の会)
- ・中村正一 (松戸宿坂川献灯まつり実行委員会)
- ・白石彌登美 (昔のあそびと遊ぼう会代表)
- ・長瀬一昭 (たんぼ de Peace 代表)
- ・吉野信次 (松戸市民ネットワーク「松戸で生きたい私たち」)